



しかはま自然観察会

2025 年度

No. 6

2025. 08. 23

のらえもん

『 人も 自然も みんな友だち 』

第6回活動 ハゼを釣ろう

「釣れた！」

いきなり、歓声があがる。

みんなで見に行くと「キビレ」だった。

尻ビレが黄色くなっているタイの仲間だ。

最近、東京湾でも沢山釣れだし、海草を

たくさん食べるため、「海のギャング」と

呼ばれているという。

ヤイゴも釣れだし、釣りの「引き」を味わうには

良い体験になつた。

1. 日 時：2025年8月23日（土）15:30～18:00

2. 天 气：晴れ

時刻	気温	水温
15:00	35, 0	33, 3
18:00	32, 4	31, 1

3、場所：荒川河川敷　満潮 18:21

4, 参加者 : 総数 17	内訳	大人	5
		高校	2
		中学	2
		小学	2
		スタッフ	6

5, 鮎 果:	総数	18 匹	
	ハゼ	5	
	キビレ	6	
	セイゴ	6	
	カニ	1	

エサ・アオイソメ

6. 活動の様子

出て来る言葉は、誰しもが「暑い！「暑い！」の日々。

そんな中の「ハゼ釣り」は、「出来るのか？」という不安はあつた。が、7月のキャンプ以来のらえもんの皆さんに会っていないので、「会いたい！」気持ちが勝ったのだった。

なんと、一番乗りは高橋さん。高橋さんは会員ではないが、「ふり返りの感想」で書いた俳句を揮毫してくれる人だ。その短冊を持って、この暑い中をお昼過ぎから来てくれていたのだった。

感謝！

二番手は田島さん父とゆうきくん。その後ぞくぞくと集合。

まずは、釣り師の福藤さんからハゼ釣りのコツやポイント・エサと仕掛けなどについて説明を受ける。

福藤さんとは、釣りの指導を受けて20年来になるのだ。エサや仕掛けの準備はもとより、2週間前から荒川の様子やハゼの生息状況を調べてくれている。

当日は、仕掛けを作つてみんなに手渡ししてくれるのだ。助かります！

福藤さんの一番の願いは、釣りを楽しんでもらうことと自分でエサをつけられることだという。

- 「釣れた！」の一場乗りは、拓未くん。キビレを釣り上げた大きな声が、暑さを吹き飛ばしてくれた。

その後は、セイゴ・ハゼ・キビレの声が飛び交った。

ここ数年は、ハゼよりもセイゴ。キビレを釣り上げることが多いようだ、

- 虫好きのゆうきくんは、カニを見つけた。クロイソベンケイガニだ。カニは、草の根元を歩いている事が多い。

キャンプでは、目を皿のようにして虫探しに熱中していたゆうきくんは、ここでもハゼを釣りカニも見つけた。

- 龍馬くんは、お父さんお母さんと参加し、ハゼ・セイゴ・キビレを釣り上げた。

- 悠人くんはお父さんと参加し、ハゼ・キビレを釣り上げた。

- 山岸さんは、お父さん・諒也くん・拓未くん・諒也くんのともだちの川端くんが参加してくれた。

山岸さんは釣りの名人。釣り竿以外の道具も完璧だ。拓未くんがキビレを釣り上げると、手袋を身に着けた。「何するんだろう？」と見ていると、「キビレはトゲがあるから、ケガをするんですよ」と言って、手袋でキビレをつかまえ、仕掛けをハサミで切ってしまった。

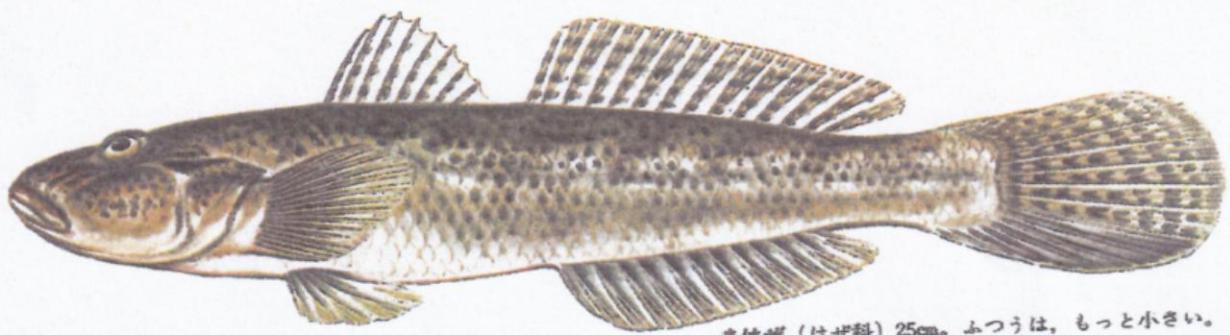
そして、「仕掛けは、どんどん取り替えればいいんです」と言う。

さすが、名人の手際良さだった。

- 春日さんは、セイゴを2匹釣り上げ、満足そう。セイゴの強い「引き」を十分味わつたようだった。

- カメラを回し続けてくれたのは栗原さんの奥様だ。ご主人が仕事で来れない時は、いつもカメラを回してくれる。今日は、後半に、ご主人が来てくれ、集合写真を撮ってくれた。

○ハゼ。セイゴ・キビレの特徴



まはぜ（はせ科）25cm。ふつうは、もっと小さい。
北海道から、九州、朝鮮へ分布。内湾に多い。だれ
にでもかんたんにつれる。



まはぜの腹びれ
このなまは、
左右の腹びれが
くっついていて
岩などにすいつ
くことができる
ものが多い。



きちぬ【きびれ】（たい科）40cm。本州中部から、イ
ンド洋、西部太平洋へ分布。沿岸にすみ、汽水域へも
くる。おいしい。



すずき（すずき科）1m。北海道から、中国南部へ分布。沿岸の
ある島礁にすむ。夏には、海水のまじる河口にもはいってくる。
出世魚のひとつで、せいご、ふっこ、すずきと名がかかる。

7. ふり返りの感想

○ 釣り師：福藤 恒司様の講評

連日猛暑の中、水中もさぞかし暑かろうと思いますが、今日は久しぶりに大漁？かと思います。

昨年も顔を出したキビレが、今年はもっと多く、心配したハゼも良い型が釣れて良かったです。

魚が釣れる度に、子どもたちの嬉しそうな元気な声があちこちから聞こえてきました。

環境の変化で川の生態系も少し変わってきたのかなと思いますが、釣りの楽しさを感じてくれたら何よりです。

皆さん、お疲れ様でした。

釣りの子ら 歓声勝るよ 蟬時雨

○ つりが、たのしかったです。

ハゼがつれて、うれしかったです。

エサつけも、たいへんでした。

ハゼつりで まつのもつるのも たのしいな

栗島小2年

○ このしあい われがしようり したなりと

加賀小5年

○ 夏の釣りはとても大変だけど、その分、とてもたっせいかんがあった。

来年は、ハゼもつりたい。

あかくもえ さよならをいう おつゆうひ

王子総合高校1年

○ 途中から参加しましたが、つりをしてとてもたのしかったです。

つりをして いっぴきつれて たのしいな

高校1年

○ 暑くて死ぬかと思ったけど、キビレがつれてよかったです。

夏休み つりは暑いは けど楽しい

江北中2年

○ とても蒸し暑い中での釣りは初めてでしたが、ハゼが釣れて良かったです。

ハゼをまつ 顔にしたたる 汗きらり

江北中2年 父

○ 少年は 釣りの時にも 捕虫網

○ 荒川の水がどんどん増えて来る月と太陽の引力の力

○ 汗だくで握る釣り竿アオイソメキビレセイゴにときどきハゼも

○ 釣り糸を垂らすだけの2時間半期待のハゼは避暑へ行く

古高 利男